



JRA

JRA70周年記念

THE NIIGATA DAISHOTEN

第46回 新潟大賞典 (GIII)

1着 2着 3着 4着 5着
 本賞 43,000,000円 17,000,000円 11,000,000円 6,500,000円 4,300,000円
 付加賞 588,000円 168,000円 84,000円



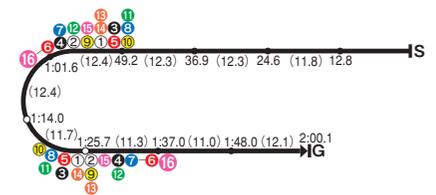
レース映像は
 コチラでご覧
 いただけます。

4歳以上、2023.5.6以降2024.4.28まで1回以上出走馬、除未出走馬および未勝利馬
 負担重量 ハンデキャップ

2024.5.5 新潟 晴・良 芝2000m (国際) (特招)

順	馬番	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑥	ヤマニンサルバム	牡	5	58	斎藤 新	2:00.1	1-1	34.4	504(-8)	15.9⑦	中村直也(栗東)	112
2	③	キングズパレス	牡	5	56	松岡正海	ハナ	9-7	33.6	498(-8)	6.4③	戸田博文(美浦)	107
3	①	ヨーホーレイク	牡	6	59	荻野 極	1½	9-10	33.5	518(-4)	5.4②	友道康夫(栗東)	110
4	④	デビットパロース	牡	5	56	横山典弘	1¼	3-4	34.3	518(-8)	10.8⑧	上村洋行(栗東)	102
5	⑪	リフレーミング	牡	6	57	丸田恭介	½	14-14	33.7	468(±0)	10.7⑤	鮫島一步(栗東)	
6	⑩	ファユエン	牝	6	53	菊沢一樹	クビ	14-16	33.6	466(+6)	181.7⑩	勢司和浩(美浦)	
7	⑭	マイネルクリソラ	牡	5	56	丹内祐次	½	9-10	34.1	460(±0)	7.0④	手塚貴久(美浦)	
8	⑦	ノックポイント	牡	4	57.5	杉原誠人	½	3-3	34.8	494(±0)	16.8⑨	木村哲也(美浦)	
9	⑨	ブレイヴロッカー	牡	4	56	太宰啓介	クビ	14-14	34.0	458(-6)	20.3⑩	本田 優(栗東)	
10	⑤	ダンテイズム	騾	8	57	富田 暁	½	12-12	34.2	474(-4)	45.5⑫	野中賢二(栗東)	
11	⑬	レーベンスティール	牡	4	58	津村明秀	ハナ	7-6	34.7	486(+3)	3.4①	田中博康(美浦)	
12	⑥	セルバーク	牡	5	57	丸山元気	½	2-2	35.3	442(±0)	36.2⑪	鈴木孝志(栗東)	
13	⑫	シーズンリッチ	牡	4	57	大野祐弥	2½	5-4	35.2	514(-4)	56.1⑬	久保田貴士(美浦)	
14	⑧	カラテ	牡	8	59.5	園分優作	¾	7-7	35.0	530(-4)	27.6⑫	辻野泰之(栗東)	
15	⑩	ヴァンケドミンゴ	牡	8	54	角田大和	½	12-12	35.0	480(+2)	287.9⑬	藤岡健一(栗東)	
16	②	ホウオウアマゾン	牡	6	58	佐々木大輔	1¼	5-7	35.4	514(+4)	97.0⑬	矢作芳人(栗東)	

単勝⑥1,590円(7½%) 複勝⑥460円(9½%) ⑬210円(3½%) ①210円(2½%) 枠連⑦-⑩490円(1½%)
 馬連③-⑥4,680円(19½%) ワイド③-⑥1,610円(20½%) ①-⑥1,860円(24½%) ①-⑩790円(5½%)
 馬単③-⑩10,200円(40½%) 3連複①-③-⑥9,880円(32½%) 3連単⑥-③-①78,840円(281½%)



通過タイム： 600m 800m 1000m 上り： 800m 600m
 36.9 - 49.2 - 1:01.6 46.1 - 34.4

アラカルト

- ・斎藤新騎手は新潟大賞典初勝利。JRA重賞は本年2勝目、通算6勝目
- ・中村直也調教師は新潟大賞典初勝利。JRA重賞は本年初勝利、通算3勝目
- ・イスラポニータ産駒はJRA重賞通算4勝目
- ・5歳馬の勝利は20年トーセンソーリヤに続く通算19回目
- ・セルバークの今村聖奈騎手は5月4日・新潟第6競走での馬場入場後の落馬負傷のため丸山元気騎手に変更

ヤマニンサルバム *Yamanin Salvum*

牡 黒鹿毛 2019.4.9生
 北海道新冠町 錦岡牧場生産
 馬主・土井肇氏 栗東・中村直也厩舎
 馬名意味・冠名+即興演奏(ラテン語)

ワンオブアクラインUSA系 F10-d

イスラボニータ 黒鹿毛 2011	フジキセキ 青鹿毛 1992	サンデーサイレンスUSA ミルレーサーUSA
	イスラコジーンUSA 鹿毛 2002	Cozzene Isla Mujeres
ヤマニンエマイユ 鹿毛 2003	ホワイトマズルGB 鹿毛 1990	Dancing Brave Fair of the Furze
	ヤマニンザナドゥ 栗毛 1994	トニービンIRE ワンオブアクラインUSA

5代までのインブリード：Northern Dancer M5×M5

INTERVIEW

和田大地氏(錦岡牧場)

牧場全体が喜びに包まれました

この馬向きの展開にはならないだろうと思見守るような気持ちで観戦しましたが、最後は新潟の直線が気の遠くなるような長さに感じられました。勝った瞬間は隣にいた仲間と抱き合っただけで喜んだり、隣の厩舎からは歓声が聞こえてきたりと、牧場全体が喜びに包まれました。今後も無事に走ってくれることが第一ですが、上のクラスも勝てるような成長を願っています。



JRA

1番人気馬の勝利は2006年のオースミグラスワンが最後。過去10年間のうち、馬単の万馬券が7回も記録されている新潟大賞典は今年も波乱サイドの決着となった。3番人気に支持されたキングズパレスとの追い比べを制したのは、7番人気の伏兵ヤマニンサルバム。前走の大敗で評価を落としていた実力馬が地力を示してハナ差の接戦に競り勝ち、昨年暮れの中日新聞杯に続く重賞2勝目を挙げた。

向正面奥のスタート地点からゲートが開くと、出足に優れたデビットバロースがまずレースを先導。大外枠から軽快に飛び出したヤマニンサルバムの斎藤新騎手はこの2番手につけたが、

内回りコースとの分岐点を過ぎたあたりで単騎、先頭に立って主導権を握る。長期休養明けの金鯱賞で3着に好走し、2番人気の支持を集めたヨーホーレイクは中団のインを進み、1番人気に支持されたセントライト記念の覇者レーベンスティールがその外を追走。昇級初戦となるキングスパレスは後方で末脚を温存した。

落ちていた流れに持ち込んだ斎藤騎手は、後方からまくり上げてきたセルバークに挑戦して残り800m地点からペースアップ。外回りコースの長い直線に向くと、馬場の真ん中へ持ち出してラストパートにかかる。突き放された好位勢にかわり、内からはヨーホーレイク、外からはキングズパレスが追ってきたが、ヤマニンサルバムは最後まで粘り強い末脚を發揮。目を引く脚勢で追い込んだキングズパレスの強襲を際どく抑えて押し切った。

すべての勝ち星を左回りコースで記録している本馬は昨年の秋に本格化し、リストッドのオクトーバーSと中日新聞杯を連勝、重賞初制覇を果たした。3番人気に支持された5歳の始動戦・金鯱賞は、馬群で揉まれた際に折り合いを欠いたのが響き、苦い大敗(2秒4差の10着)を喫したものの、この日は初コンビを組んだ斎藤騎手の積極的なリードに促されて前走の汚名を返上。得意の左回りコースで仕切り直しの一步を踏み出した。

父イスラボニータ

北海道浦河町(有社台コーポレーション白老ファーム生産 中央25戦8勝(卓月賞^{G1}、阪神C^{GII}、マイルズC^{GII}、セントライト記念^{GII}、共同通信杯^{GIII}、東京スポーツ杯2歳S^{GIII}、日本ダービー^{G1}2着、マイルチャンピオンシップ^{G1}2着、天皇賞(秋)^{G1}3着2回)、最優秀3歳牡馬、18年から供用〔代表産駒〕ヤマニンサルバム(本馬)、プリバレイ(ファルコンS^{GIII})、コスタボニータ(福島牝馬S^{GIII})、バトルクライ(すばるS・L、根岸S^{GIII}3着、ユニコーンS^{GIII}3着)、オメガリッチマン(京成杯^{GIII}2着)、ルカランフィースト(スプリングS^{GIII}3着)、トゥードジボン(京都金杯^{GIII}3着)

母ヤマニンエマイユ

北海道新冠町 錦岡牧場生産 中央55戦6勝(オーロC^{OP}、NSTオープン^{OP}、葉山特別、鞍ヶ池特別)、21年死亡

ヤマニンマンドール(12 牡父ストーミングホームGB)中央30戦3勝(会津特別、ゆきつばき賞)、障害7戦1勝

ヤマニンベダラーダ(14 牡父ディーブインパクト)中央75戦3勝(豊橋特別)ヤマニンヌヌース(15 牡父ディーブインパクト)中央13戦0勝

ヤマニンバルトロ(18 牡父ディーブプリランテ)中央8戦0勝、地方37戦5勝

ヤマニンサルバム 本馬(19 牡父イスラボニータ)中央22戦7勝(新潟大賞典^{GIII}、中日新聞杯^{GIII}、オクトーバーS・L、寿S、名古屋日刊スポーツ杯、白富士S・L3着)獲得総賞金195,911,000円

※13、17、20(流産)、16(生後直死)、21(死産)

祖母ヤマニンザナドゥ

北海道新冠町 錦岡牧場生産 中央3勝(野麦峠特別、報知杯4歳牝馬特別^{GII}3着、クローバー賞^{OP}3着)、14年用途変更

ヤマニッキュビドン(00 牡父ティンバーカントリーUSA)中央1勝、地方0勝

ヤマニンエマイユ(03 前出)

ヤマニンジェリル(10 牡父アグネスタキオン)中央2勝、地方0勝

曾祖母ワンオブアクラインUSA

北米2勝(オークリーフS・米^{G1}、ハリウッドスターレットS・米^{G1}3着)、92年輸入、08年用途変更

ウッドウンチケット Wooden Ticket(90 牡父Alydar)北米4勝(レイザーバックH^{G2}3着)

ヤマニンリボルバー(93 牡父ヘクタープロテクターUSA)中央6勝(大原S、八坂特別、KBC杯^{OP}3着)

ヤマニンザナドゥ(94 前出)

前走の汚名を返上し2度目の重賞制覇